

＜夏休みを終えて＞

37日間の夏休みが終わりました。どんな夏休みでしたか。休みに入る前に、普段できないようなことにじっくり取り組もうという話をしましたが、どうだったでしょうか。中にはのんびりと過ごしてエネルギーをしっかりとためたという人もいるかもしれません。大切なのは、経験をしっかりとこれからに生かすことです。もちろん失敗も含めてです。

夏休みの経験の一つにキャリアインターンシップがありました。お世話になった38か所の事業所の方に電話でお礼を言ったときにどの事業所の方も皆さんが素直で一生懸命取り組んでいたと褒めていました。体験から多くのことを学んだはずです。自分の将来を少しでもイメージできましたか。社会でのルール、マナーというものも感じることはできたのではないのでしょうか。体験だけで終わらずに、学んだことをまとめて、文化発表会で発表してほしいと思います。

皆さんに今回の体験を通して是非感じ取ってほしかったことがあります。それはどんな仕事でも必ずその先には人がいるということです。接客はもちろん物を作る場合でも必ずそれを使う人がいることに気づいたのでしょうか。どんな仕事でも人のために何かしているのです。いろいろな会社では、人のためになることを考え、サービスをしたり、商品開発をしたりして経営しています。そしてその仕事の内容によって報酬を受けて生活しているのです。先生達も同じです。皆さんが社会に出て自立して生活できるようにと仕事をしています。この夏休みに新たに取り組んだものとして学習ルームがありました。宿題は終わりましたか。不得意教科、不得意分野の克服に向けて取り組みましたか。学習ルームを利用して先生方に教えてもらっていた人たちも多く見られました。学習面の強化は先生方の目標でもあります。これから1学期の成績に向けて皆さんの勉強面を全力で応援していきたいと思います。部活動にも熱心に取り組んでもらいました。特に駅伝選手の皆さんは朝7:30から厳しい練習に耐えながらがんばってきました。先生方も協力して指導にあたりました。大会当日まで10日を切りましたので、最後の調整をしっかりと練習の成果を出し切ってほしいと思います。全校体制で応援したいと思います。また1、2年生は新入大会に向けてがんばっていた人たちがいました。先輩たちから引き継いだ部活動の成果を発揮できるよう応援していきたいと思います。

さて、夏休みを終えて今日からまた学校生活が始まりますが、今抱負を述べてくれた4人の皆さんと同じように目標を立てていますか。区切りごとに振り返り、目標を見直していくことが大切です。校長先生も目標を立てました。この夏休み2歳の男の子を助けた尾畠のおじいちゃんのニュースがありました。あの人は「人のために自分ができることをしよう。」とボランティア活動に励んでいる人です。尾畠さんは、今まで十分いろいろな人のお世話になったので報酬はいらないという考えの人です。それを見て校長先生も「百年後の秋保人」のために何ができるかを考えていきたいと思いました。百年後、校長先生を含めてここにいるほとんどの人は、たぶんこの世界にいたことができません。でも何か残すことはできるはずです。今週の土曜日には文化発表会があります。復活して2年目、秋中らしさをどのように出していけるのか、生徒会を中心にみんなで考えて、作り上げていきたいと思っています。そして百年後までも残せるような行事にできればと考えています。

皆さんもここでもう一度しっかりと目標を持ってください。そして、それを達成するためのコツ、3つの気、そしてお互い応援し合う仲間や雰囲気を大切にして今日からまた、がんばっていきましょう。